

支え合い

新和小 コミュニティ・スクール通信 No.18 (2023.10.31)

第2回学校運営協議会を開催しました。パート1

令和5年度 第2回学校運営協議会を10月19日(木)に行いました。

会議の冒頭、若谷様のご逝去に伴う新たな委員の選出は行わず以後の協議会を進めていくことが確認されました。

今回の学校運営協議会は、大きく3本の柱で行いました。

一つ目は、『令和5年度の学校運営の中間報告』についてです。

第1回の学校運営協議会で承認された

①学びの自律化に向けた一人1台端末の活用と探究的な学習の充実について

②安心・安全な学習環境の礎となる人間関係の構築と施設設備・予算の適切な管理について

③学校・家庭・地域が連携して進める魅力ある新和地区の創造について

④「学びのポイント」を意識した授業展開による学びの自律化の促進について



○リフレッシュ工事の進捗及び今後の予定について

○令和6年度新1年生の入学予定状況について

○その他

教材費等の集金方法・通信表の記載方法の変更について・学校配付物のペーパーレス化について説明がありました。

また、美園地区教育環境整備と併せて「新和小・城南中学校区の魅力化」に努めた結果として、令和6年度の新1年入学児童数の動向についても説明がありました。(入学予定者数49名 10月18日現在)

学校運営については、

・本年度の卒業式への来賓の参加予定について

<現段階では未定です。近隣の学校の動向も参考に決めていきます。>

- 教科担任制の効果について
 <教材研究の深化や系統性、生徒指導上の問題点の共有など効果は大きいととらえています。>



- 児童数増を見込む根拠について。また、どの程度の学級増を目標にしているのか。
- 校舎増築や子ども居場所事業・プールの民間委託・英語教育の推進など児童数増の追い風にはなるが、実際にそれほどまで増えることは期待できないのではないかと。新和小の魅力の一つに小規模だからという保護者の声も多いです。
 <各学年2～3学級程度を考えているようです。>
- 次年度の新入学児童予定児童が増え、2学級になるのは良い事です。ユニクスによく子どもたちの作品が展示されているのがよい効果になっているのではないのでしょうか。
- 通信表の記載方法の変更については、子どもをよく見ていくといった点から現在の方がよいのではないかと。先生方の働き方改革といった視点からの転換であると推察しますが、どの程度先生方の働き方改革になっているのか。
 <概ね3分の1程度負担が軽減される予定です。>
- 先生方の勤務状況について現状はどのような状況なのか。
 <新和小の教職員の現状は、概ね良好であるととらえています。働く環境は良いが、一人当たりの業務量が多いと感じている教職員もいるのは事実です。>
- 先生方の働き方の改善には、今後も先生方と管理職等のコミュニケーションを十分にしたいです。不断の努力をお願いします。



いずれのご意見も、新和小、子どもたち、教職員のことを深く考え、よりよくしていきたいとの前向きなご意見・ご指摘でした。今後も、様々な面で情報を提供したり、丁寧に説明を重ねたりしながら、学校運営を進めていきたいと考えます。

今年度の学校運営が計画されたとおりに順調に進められていること、新たな課題に対しての計画化など、変化に対応して柔軟に運営されている点について前向きな評価をいただき、さらに後半の教育活動についても励ましのご意見をいただきました。

【次号に続く】